



Good Life

52

あなたのそばの
保険代理店
グット・ライフ



あなたのそばの保険屋さん

- 伊勢田 徹
- 関野 俊和
- 西 正明
- 戸塚 珠恵
- 木内 博子
- 白井 稔
- * *
- 佐藤 香

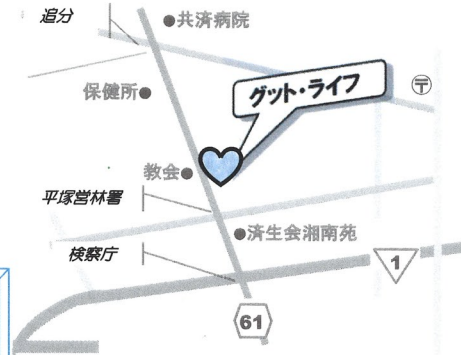
あなたの身近な問題に
応えるのが、私たちグット・ライフ
の仕事です。ぴったりサイズの安心をおおつらえ致します

グット・ライフ

goodlife@cosmos.ocn.ne.jp

Tel 0463-37-1955 みないくごー

Fax 0463-37-1966

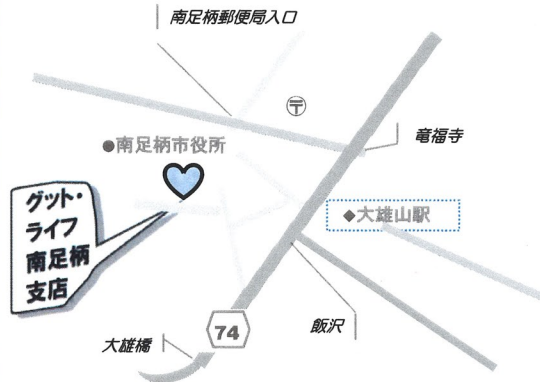


平塚・立野町39-5

八間通り沿い・済生会湘南苑並び北88歩



WE GOOD LIFE



南足柄・飯沢72-4

Tel 0465-72-1701

Fax 0465-72-0090

We wish "May be your good Samaritan every night and day."

創業三〇年余。
二十五年のとき、感謝を込めて、記念品をつくろう、と話し合った。社長は、辞書の、広辞苑に名入れをしたがった。ところが、である。

いまや、趨勢は電子辞書。広辞苑の束(本の厚さ)では、枕として使われてしまいそうだ。枕上では、いい考えが浮かぶというので、それならそれで良さそうなものだが、間の悪いことに出くわした。或る日、紙力パーのついたままの、ほぼ新品の辞書が、職場近くでゴミに出されているのを見かけたのだ。そんな光景を、社に戻って社長に話した。「うちの名が入った辞書がトイレ・ペーパーになるのは、せつないねえ」なんて言っていた。しゃれたことは縁のない堅物なので、よい代替案も浮かばず。はや七年となる。

せこせこちまちましたことは好かない。で、この際にと思いい切った。

財団法人をはじめよう。 各付けて「グット・ライフ財団」

人間ハダカで生まれてきたのだから、きれいにハダカで去ることができれば、それが美しいと思う。きちりと己が生をチャラに済ませるための要件は、ひとに自分で生きる術を身に付けさせる教育である。教育(ギリシア人の言う「パイディア」とは、学校教育に留まらない。たとえば、天ぶらを揚げられるのと、天ぶら屋をやっていけるのは違う。一人前の職人、かつ、経営者になる。そういう類の教育だ。それを与えられれば、十二分だ

まちかど

ところ。ところが、である。近年になって、世帯の九割が「中流」だと思意識していた日本の社会がじわじわと崩れた。こどもの貧困率は、六人にひとり、という。まともな食事は学校給食だけで、夏休みなど長期休暇のうちに、成長期の子が体重を減らして登校してくる。朝食を施しはじめた小学校がある。こどもが娑婆に在る。通学を願い、無料の給食を出し、家族の分まで持ち帰ることを前提に義務教育の徹底を狙い施策した一時期のフィリピンに、日本の邦民の状況は逆戻りし始めているさまざま。廉価あるいは無償で食事を与える「こども食堂」が全国に広がりは始めている。大手コンビニも手をさしのハ始めた。

そうだが、パンが無ければ、生命をつなぎとめられない、が、ひとはパンのみでは、ひととなれない。笑顔で囲む食卓、そして、パイディアが要る。

じつは、ここ十年、児童擁護施設の子たちに、本を贈ることをしてきた。私自身、こと本に関しては、廉価な文庫や新書であれば、両頬は笑顔で与えた。その患は、いまに至って大きい。はいじめは、新年度に向け、図書室のための図書券を贈っていた。そのつしかひとり一人の誕生日に、プレゼントするようにになった。そのたびに、職員の方々に「あの子はどんな本を欲しいがってるの」と聞き出していただいている。図鑑がいちばん人気。喜びをわかれば、贈り手の喜びは、より大きい。毎月、ささやかな「記念品」を通して、社業を支えてくださる皆様への感謝を思う。(と

南足柄支店 開設のお知らせ

2019年1月1日より 南足柄支店
を設け、営業を開始しております
担当：関野 俊和
南足柄市飯沢72-4 [〒250-0122]
tel 0465-72-1701 fax 0465-72-0090

新入社員 御挨拶

白井 稔

* プロフィール *

1995年11月21日生まれ

相模原市育ち 三人兄弟の三男O型
高校卒業後、地元の郵便局(本局)にて
集配及び営業を4年4ヶ月勤務。

1000世帯の地域を担当し、毎日の配達を通し
地域のお客様とのコミュニケーションを大切に

「地域密着」
を心に務めました

お客様とふれあえる中、人の繋がりの大切さ
親しくお話出来ることの楽しさを学びました
やがて

自分ももっとお客様に関わりたい
もっと お役に立ちたいと強く想い

2019年3月1日グット・ライフに入社しました

グット・ライフにおいて
皆様大切な人生に役立ち
良い人生を送る為の安心を一緒に考え提案し
サポート

して参りたいと強く抱いております
どうぞ、白井を宜しくお願い致します

趣味

映画鑑賞 [ロードオブザリング・ショー
シャンクの空に etc.]

田舎へ旅行 [山紫水明な癒しを探す旅]
バイクツーリング [Suzuki.Gsx400 インパルス]

猫を可愛がること：(母)りっちゃん
(子)ひいちゃん ひにいちゃん ひさんちゃん

(うすい むのり)

たんじゅうび、おめでどう！ 1日いっせいくん、2日かほさん、6日あやかさん、15日はるかさん、16日えいかさん、けんいちくん、19日まゆさん、20日ゆきさん、24日しずかさん、28日はるかさん。

赫灼たり

伊勢田 徹

◆ あお、あか、しろ、くろ。生を四季に重ね合せ、色づけて、名付ける。日く、青春朱夏白秋玄冬。畢竟、白からクロへ、モノトーンの色調に移るのだろうか。玄とはまっくろではなく、「黒にして赤色有る」と言う。私たちがシロクロ写真に色を感じるように、古代人は、紅葉の時期に白を、冬にふかい色合いを見て取っていた。

◆ 長く親交のある関野俊和氏と保険代理の仕事を共にするようになった。南足柄市の商工会の役員を務めるなど社会貢献に厚く、地域のみなさまの期待に応えられてきた方である。家族への愛は深く、病いに侵されたお嬢様へ、ことばとおりの身を削っての救命に努められた。現在は、週末に細君とともに遺された孫娘と食卓をとみにしている。

◆ 拙父は、いわゆる苦勞人であった。母親は蒲柳の質で、父親は印刷所を小田原で営んでいたが、戦時供出で印刷機を失い、しばらくして大磯に戻った。腎臓を患った母の襦袢(おしめ)は、「水がよごれる」と井戸水での洗濯を禁じた親族らの命によって、川まで洗いに行ったそうである。看病の甲斐なく、讃美歌を口ずさみながら亡くなった母に続き、父が倒れ、弟妹の面倒は長子である彼がみた。すでに大学進学望みは断られていた。商科に進む。高校の奨学金はコメに代わった。アルバイト先のまかない食で「遠慮せずに、おなかいっぱい食べなさい」と言ってくれた和服店の女将のことを懐かしそうに話していた。コロッケの真ん中を割って、ドボドボとソースをかけるのは、餓鬼当時の名残りだ。バイト代を割いて求めた大福をおとうといもうとと三人で分け合い口に入れるのが月に一度の甘味だったと言う。滞納した授業料は卒業後にサラリーから返したそうである。

◆ 1936年に生を享け、生存を賭して働いてきた少年の歩みである。
生前、父伊勢田洋次が本紙のために認めた最後の原稿の一節には、

新聞投書欄の福岡県在住中学生からの投稿が眼にとまった。「帰る家があり、勉強、食事、お風呂にもはいれる。こんな当たり前が普通に出来る私は幸せ者」と言うのである。

2011年3月11日、突如、三陸沖を震源とする巨大地震が東北地方を襲った。陸前高田市、南相馬市など広範囲にわたって死者、行方不明者および家屋倒壊、水没など大きな被害が出た。追いつきをかける様に13日には東電の原子力発電所で大爆発があり、福島県下の各地、近隣に大量の放射性物質がばら撒かれた。住民は原爆症の恐怖に慄き、各々が強制退去、非難を余儀なくされた。

時は過ぎ2016年7月、原発20キロ圏内の相馬市に避難解除が告げられた。しかし町の活気は取り戻せず他県などに避難していた住民が帰ってきつつあるが、その人数は災害前の1/6にも満たない。彼らは叫ぶ。「原発事故前の普通の暮らしを一日も早く取り戻したい」と。

当たり前が当たり前でなくなることは恐ろしくもあり、当惑これ極まりの感がある。当たり前に感謝する素直な中学生の心こそ学ぶべき平和の原点である。

◆ 戦さによりきびしい幼少から青年期を送った父には、福岡に越した罹災中学生の、この歳月は他人事ではなかったはずである。自身の努力力量を頼み、境涯を生きたが、いかんともしがたい大状況にある者への共感と気遣いを失うことがなかった。この人柄を慕ってだろう、関野さんという同志を得、フレッシュな新入社員をえることができた。

◆ 時代は移ろうとも、しばしば「ひとり」を襲う苦難はなくなるならない。保険という制度のまえに、まず、私たちの生は「ひとは万人のために、万人はひとりのために」でありたいと私は願う。生の色合いは、常に澄み、輝きに富むことを望むが、ときに、くすみ、にごる。昏きに覆われていると感じる状況もあるだろうか。そんなとき、グット・ライフの面々を思いだしていただけるようでありたい。

「うちは 名なし
まだ二日しか たつてないもの」
なんと呼んで あげようか
「ああたのし
うれし子 いうのがうちの名まえ」
あまいうれし おまえにつもれ！
かわいらしうれし子
あまいうれし子 やつとまだ二日
あまいうれし子 そう呼ぶぞ
あ あ 笑ってる
歌わんといられん
アマイウレシ オマエニツモレ

「うれし子」 ウィリアム ブレイク

Infant Joy W.Blake

I have no name : Pretty Joy!
I am but two days old. Sweet Joy, but two days old.
What shall I call thee? Sweet Joy I call thee ;
'I happy am, Thou dost smile,
Joy is my name.' I sing the while,
Sweet joy befall thee! Sweet joy befall thee!

訃告

二〇一九年

有限会社 グット・ライフ

去る一月十五日 弊社会長 伊勢田洋次
を閉じ天に召されまし
た。当日はいつも通り業務にあ
たり帰宅直後の急逝でありまし
た。生前に召された故人の希望に
なすはばいごいすす
葬儀は聖イゴイ
ませしおき合不意の身罷り
に亘りお付き合が戴いておりました
くださいますことご厚誼を深く謝し謹んで通知申し
上げます

母となるアキさん、ユリさん、おめでどう！ 赤子よ、ようこそ、ようこそ、ようこそ！ あなたの笑みに似つかわしい世界を手渡せませよう！